

EX.VIEW

EXTERIOR
VIEW
2005・Vol.26

INDEX

2005年 秋号・Vol.26

1 -4

古橋宜昌のEXプランニング講座

5 -12

事例ノート

13 -15

特別講座
京の庭師に学ぶ
「和の庭」素材編

16

ミニ研修会 潜入レポート

17

緊急特集
台風に負けない
カーポートづくり

18

御庭会通信



古橋宜昌の EX プランニング講座 第2回

門まわりのデザイン

門まわりは「家の顔」と呼ばれるほどエクステリアにおいてはとても重要な部分です。

どんなに予算が厳しい場合でも、この門まわりのデザインや素材はこだわりを持って提案したいものです。

デザインの傾向としては、壁の高さをあまり高くしないで圧迫感をなくし、凹凸感を出しながら植栽とうまく組み合わせたものが好まれています。

素材としてはさすがに普通ブロックのみという事はないと思いますが、化粧ブロックでも色や質感、笠木の処理などにこだわりを持ちたいものです。最近では、普通ブロックを下地としてその表面を塗り材で仕上げる左官仕上げやタイル、スライス煉瓦等を圧着工法で貼るものなどが人気があるようです。

勿論、煉瓦積みや自然石などを採用すれば高級感もアップし、見栄えも良くなることは言うまでもありません。

それでは具体的にプランニングのポイントを解説していくことにしましょう。

1 門構えのスタイルと特徴



クローズスタイル

クローズスタイルとは塀や門扉、カーゲート等で道路面を囲ったものを言います。道路境界ぎりぎりに門扉を配置したり、高い塀で囲っただけのデザインではあまり魅力的なプランにはなりません。壁の構成や植栽スペースの確保、素材の組み合わせなどを工夫すれば素敵なプランとする事も十分可能です。

また最近ではセキュリティーの面からもクローズスタイルを希望される方も増えており、今後益々細部までこだわった魅力的なクローズプランを提案できるデザイナーが求められる事でしょう。



オープンスタイル

オープンスタイルとはクローズスタイルの逆で、塀で囲わないで誰もが自由に入出入り出来る開放的なプランを言います。勿論、構造物が少ない分植栽等で補わなくては魅力的なものにはなりません。素材も出来るだけ存在感のあるものを選び、植栽とのバランスにも注意を払わなくてはなりません。

セキュリティーの面でもセンサーや照明、踏むと音の出る砂利敷きなどを積極的に提案する必要があるでしょう。



セミオープンスタイル

セミオープンスタイルとは、クローズスタイルとオープンスタイルの中間的な存在で、適度な囲いと開放感のバランスがポイントとなります。

魅せる部分と隠す部分を明確にしてからデザインする事が大切で、勿論植栽とのコーディネートも忘れてはなりません。

壁や角柱を計画する場合は機能的な寸法と、全体バランスの双方から検討し、構造物の大きさや配置を決定すると良いでしょう。

古橋宜昌 (ふるはしのりまさ)

生年月日：1958年4月6日

東京電機大学理工学部建設工学科卒。

有限会社エクスプランニング代表取締役・エクステリア & ガーデンアカデミー東京校長
一級建築士・一級造園施工管理技士・一級土木施工管理技士。

JAG日本ガーデンデザイナーズ協会会員・英国王立園芸協会会員・同推奨品認定委員
大手ハウスメーカーのエクステリア部門を経て、1997年、日本では珍しいエクステリアとガーデンの設計業務を請け負う会社「エクスプランニング」を設立。

個人住宅のエクステリア&ガーデン設計は年間500棟を越え、その設計事例は多くのガーデンニング専門誌等で紹介されている。

ホテルオークラで開催されたガーデニングショーでは「イギリス大使夫人の庭」のデザインと施工を担当。

設計業務の傍ら専門学校や英国王立園芸協会などのセミナーの講師、デザインコンテストや「TVチャンピオンガーデニング王選手権」の審査員なども務める。

ホームページアドレス <http://exp.lanning.m78.com>



2 袖壁の基本寸法

A：メインの袖壁の幅
ポストや表札、インターホンなどが付く側の袖壁の幅は800mm以上確保しましょう。無理な場合は縦型の口金ポストか、別にアメリカンポストを組み合わせる必要があります。

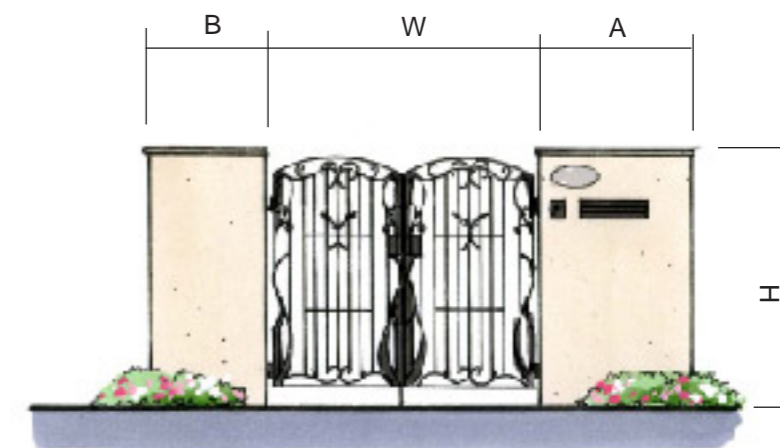
B：サブの袖壁の幅
一方、何も付かない壁はメインの袖壁よりも多少小さめにし、バランスをとると良いでしょう。もし、同じ寸法で計画する場合は間延びした感じにならないようスリットや小窓、照明などでアクセントをつける事をおすすめします。

W：間口寸法

門扉をつける場合は門扉のサイズに合わせる事になりますが、つけない場合でも後に簡単に既製の門扉が取り付けられる様寸法を合わせておくとう良いでしょう。一般的には1,400mmが標準です。

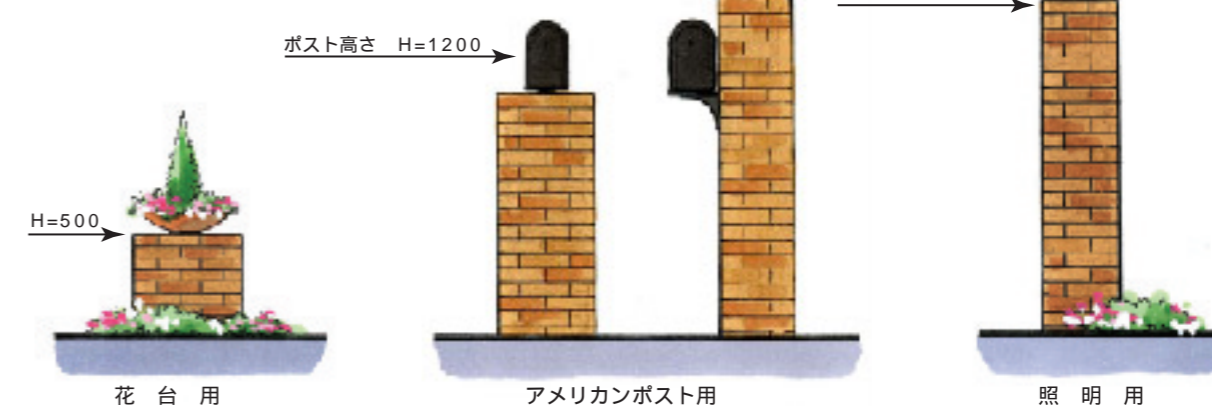
H：袖壁の高さ

壁の高さは目の高さと同ほほぼ同じ1,500mm程度を標準とします。それ以上高いと高級感が出る反面、圧迫感も出てきます。逆に低いと開放的になりますが安っぽい感じになる事もありますので注意しましょう。



3 角柱の基本寸法

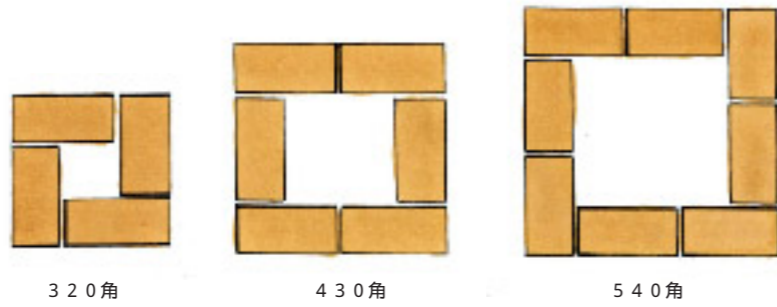
3-1 高さについて



花台の高さは周囲の植栽の有無にもよりますが500mm程度が良いでしょう。
アメリカンポストを付ける場合はポストの中心高さが1,200mm前後になるよう角柱の高さを調整します。
照明を上部に付ける場合は眩しくならない様1,400~1,500mm程度とします。

3-2 太さについて

エクステリアで一般的に用いられるレンガの角柱の太さは概ね3種類です。必要に応じて内部の空間を利用して電気の配管や鉄筋とコンクリートで補強をおこないます。



袖壁のデザイン例

4

袖壁は単体で建てるよりも二枚又は三枚で平行にずらしてレイアウトした方が、リズム感が出て奥行きを感じさせます。又、その間を壁で繋ぐ事により地震時の転倒に対する抵抗力もアップします。

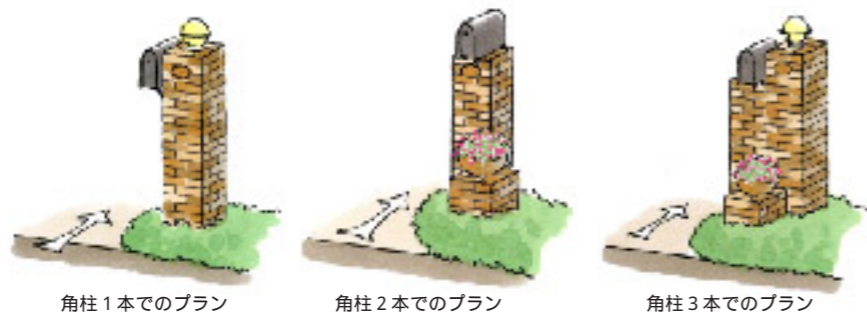


壁の素材を組み合わせる事で個性が出ます。塗り壁仕上げの場合は汚れが付きにくい様、笠木と巾木を設けると良いでしょう。化粧ブロックもレンガや他の素材とコーディネートすることで個性的で面白いデザインすることができます。

角柱のデザイン例

5

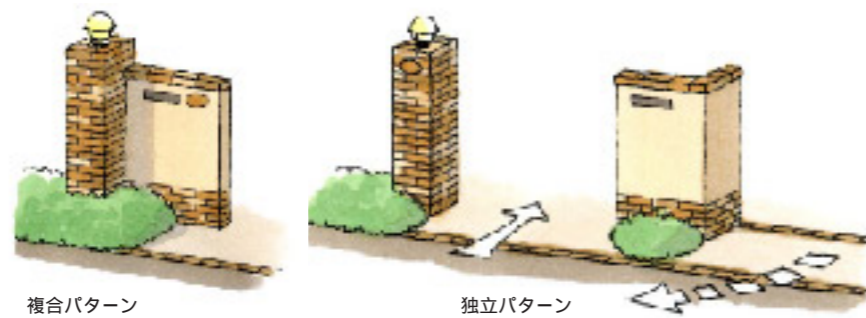
複数の角柱を組み合わせる時は高さや配置に変化を付けることがポイントとなります。



袖壁と角柱の組み合わせデザイン例

6

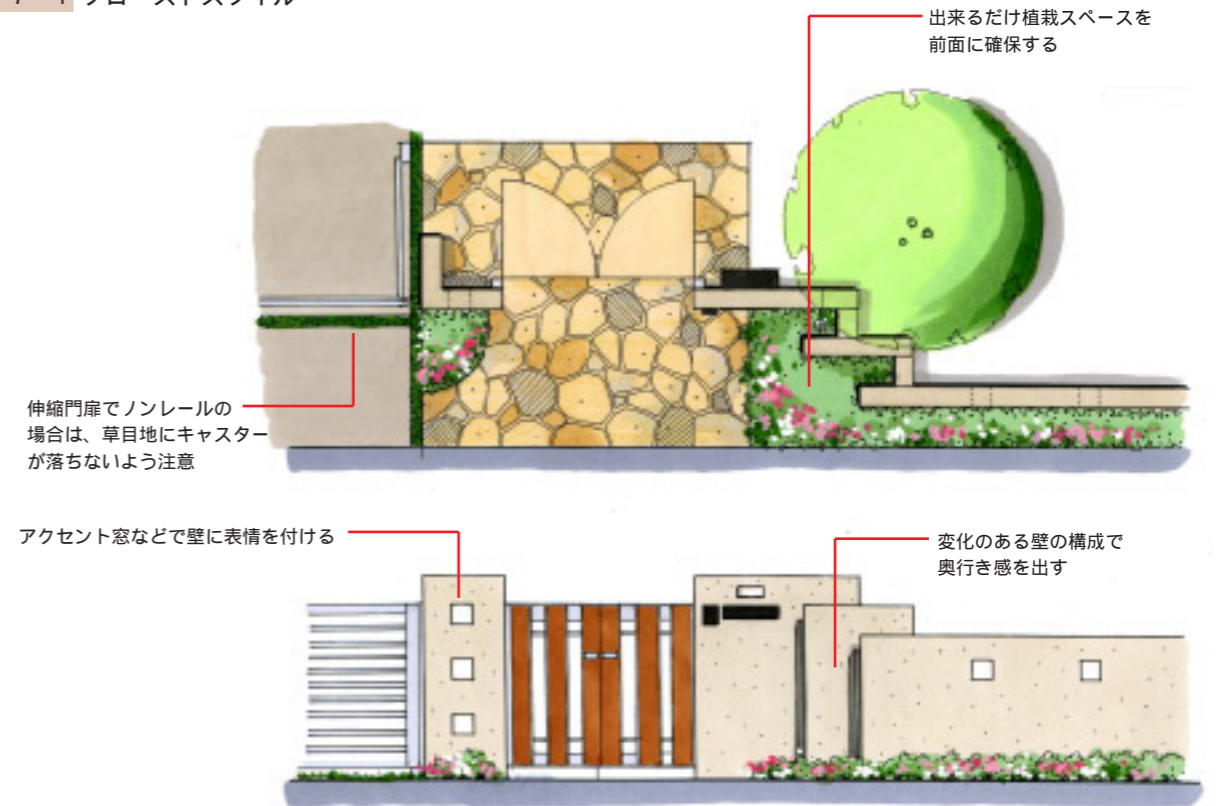
壁と角柱を組み合わせる事でデザインのバリエーションも豊富になります。



モデルプランによるプランニングのポイント

7

7-1 クローズドスタイル



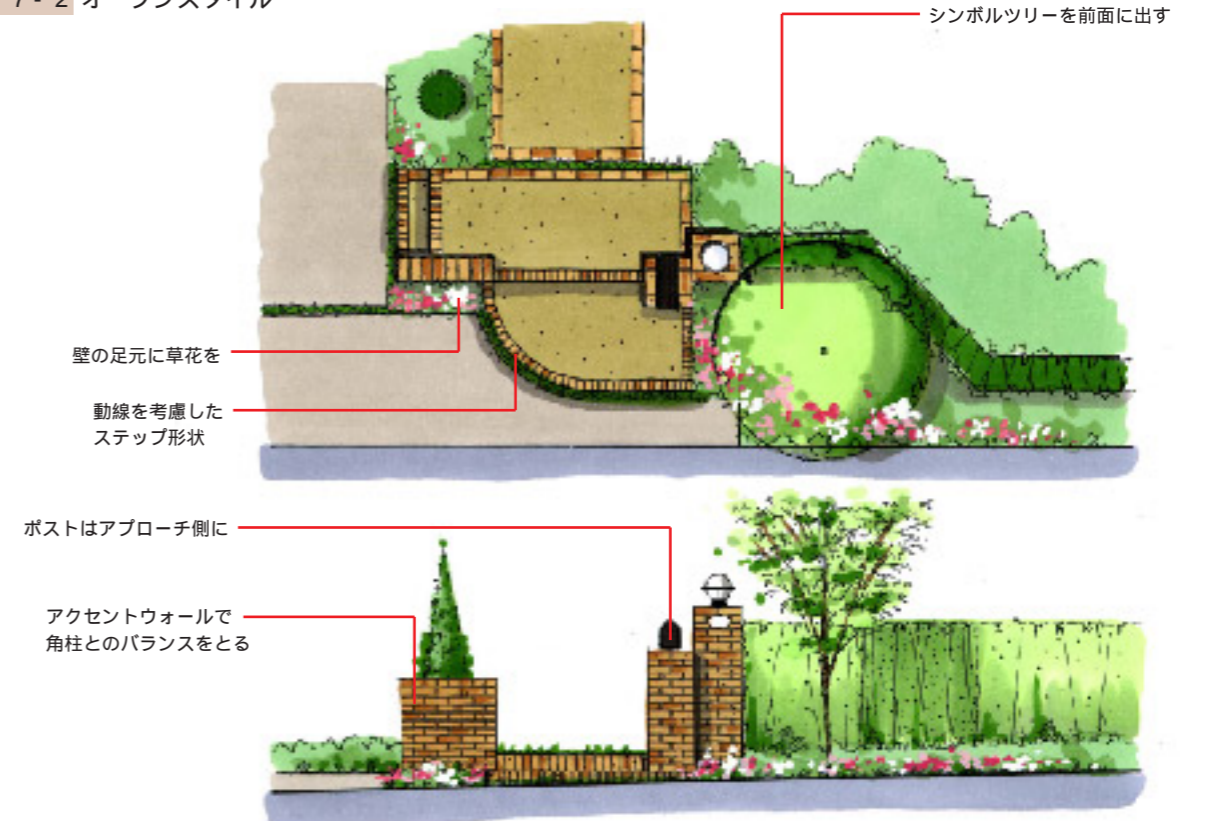
伸縮門扉でノンレールの場合は、草目にキャストが落ちないように注意

出来るだけ植栽スペースを前面に確保する

アクセント窓などで壁に表情を付ける

変化のある壁の構成で奥行き感を出す

7-2 オープンスタイル



壁の足元に草花を

動線を考慮したステップ形状

シンボルツリーを前面に出す

ポストはアプローチ側に

アクセントウォールで角柱とのバランスをとる

建築もエクステリアもできる
強みを生かして、外と内とが調和した
「庭から発想する家」をめざす

5年前、30歳で会社を創設。当初は建築リフォームを主体にしていましたが、次第にエクステリアの仕事が増え、面白さも感じて、いまではエクステリアが主体になっています。それでも建築ができる、お客様の建物のご相談にも乗れますので、また違う付加価値がありますね。「エクステリアだけでなく、家のこともわかっていて信頼できる」代表取締役 田井輝彦様とお客様によく言われます。



代表取締役 田井輝彦様

当社のデザインコンセプトは「ワクワクと楽しく変化させる」こと。お客様が求めるものに合わせるだけでなく、プラスアルファの楽しさを提案するように心がけています。ただ最近、合い見積もり時などにプランが流出することがあるので、プランニングは有料にし、契約までは図面を渡さない...などの自衛策をとっています。それでいったんは遠のいたお客様も、あちこちまわった末に、やっぱりうちで戻ってこられることが多いですね。現在、スタッフは3名。プランニング担当が1名、現場担当が1名で、社長の私は営業・見積もり・現場まですべてを行います。実績は月に6~10件。そのうえ建築の仕事もあるので、大忙しの毎日です。

販促活動は、新聞折り込みチラシや「POLISH」という地元のミニコミ紙などを活用。HPでお客様の施工例なども紹介しています。そういった活動の成果もあってか、一般のお客様に少しずつ認知されている手ごたえを感じますね。当初は工務店からの紹介が8割以上だったのが、最近では工務店紹介5:一般のお客様5というくらいの割合になってきています。

今後は、建築も外構もできる強みを生かして、「庭から発想する家」をつかっていきたいですね。そうすれば、水道管ひとつでも外と内とで使いやすく設置できるし、パランスのとれた美しい外観が実現しますので。現在手がけている大津市の風致地区の新プロジェクトは、まさにそんな発想の街並みです。全17戸のエクステリアをハウスメーカーがプロデュースするのをお手伝いし、建築の計画段階から参画し、建築設計と外構を同じ土俵で進めていきました。いよいよこの秋に着工ですが、家と外とが調和した住まいになると思うし、街並みの景観も統一感があって美しく仕上がるのではないかと期待しています。



新聞折り込みチラシやHPで積極的に広報活動も。チラシにはお客様の事例やご相談の手順などを紹介しています。

H様邸

エクステリアにあまり予算が取れない場合でも、ただの「シンプル」に終わらない斬新な工夫をこらします。門柱の塗り壁にはフッ素を使って汚れにくく仕上げられていますし、カラーのガラスブロックやマリンランプを組み込んでおしゃれに演出しています。植栽も右隅にシマトネリコ、中央にハナミズキを植えてやさしいアクセントに。カーポートには「カムフィアワイド」を採用。アーバングレーのやさしい色が、ライトな建物の雰囲気に自然に調和しています。



【外観全景】
建物に合わせて、シンプルでモダンなイメージにまとめたエクステリア。オープン外構でありながら、互い違いに立てた門柱の間にハナミズキを植えて、玄関付近が丸見えにならないように、さりげなく目かくししています。



【アプローチから玄関へ】
アプローチの床は石張りとし砂利敷きを組み合わせ変化をつけ、ナナメに誘導して奥行き感を。共働きのご夫婦が夜帰宅したとき、門柱のマリンランプが明るく灯り、ガラスブロックを通して柔らかな光が美しくひろがって、心を和ませてくれるとのこと。



【正面からの全景】
淡いイエローの建物と、オレンジ系の庇、アイボリーベージュの塀や床など、建物とエクステリアの色配分は、一緒にプランしただけに絶妙。高低差を利用して、右側はオープンな駐車場、左側はセミクローズドな塀を設け、視覚に変化をもたらしています。駐車スペースはナナメに取ることで勾配もゆるやかになり、見た目のバランスも美しく、出し入れしやすいと好評です。



【ロゴマークの妻飾り】
屋根近くには「ガーデンフィールズ」様のロゴマークの妻飾りが、奥様もお気に入りです。

N様邸

建物もエクステリアも両方請け負った「庭から発想する家」の例。お客様の「家の予算はなるべくおさえて、庭や外回りを充実させたい」という要望もあって、建物はレンガ張りを一部だけにするなどシンプルにまとめ、その分エクステリアにきちんと予算を取りました。両方一緒にプランングしたため、配管や電気マスの位置など、設備工事もと変更がなくスムーズに。そして、土地の高低差を生かしてオープンな感覚を残しながら、さりげなく空間を仕切ったセミクローズドタイプのエクステリアが完成。家の雰囲気に合わせて、門扉はクラシカルモダンな「プロヴァンス」を採用。「何もかもステキ」と奥様も大満足です。



【玄関から門を見おろす】
曲線を多く使ったなだらかな印象に仕上げられていますが、こうして見るとかなり高低差があるのがわかります。門柱のマリンランプが明るく灯り、ガラスブロックを通して柔らかな光が美しくひろがって、心を和ませてくれるとのこと。



【横伝いに門へのアプローチ】
なだらかな曲線が、やさしく入り口に迎入れてくれます。門はタイル貼りで、同じタイルを塀にライン張りしているのがおしゃれ。塀の下は植え込みにして、植栽は奥様に好きなものを選んでもらいました。

増えるリフォーム需要。
お客様との対話を大切にして
スタッフ5名で目の届く誠実な仕事を



代表・洲之上政弘様(左)。外見はコワモテ(失礼!)ですが、お客様と話し合うのが大好きという気さくな方で、お客様からの人気も絶大です。息子さんの拳造様(右)はプランニング担当。センスのよさに定評があります。

それまで勤務していた土木関係の会社から独立して、15年前に当社を創業。当初は家の基礎工事が中心でしたが、「やってみーへんか?」といわれて外構の仕事を始めたら面白く、現在は外構・造園がメインです。商圏は和歌山市内と近辺が中心です。大半はハウスメーカーからの紹介ですが、一般のお客様からの紹介も増えてきています。

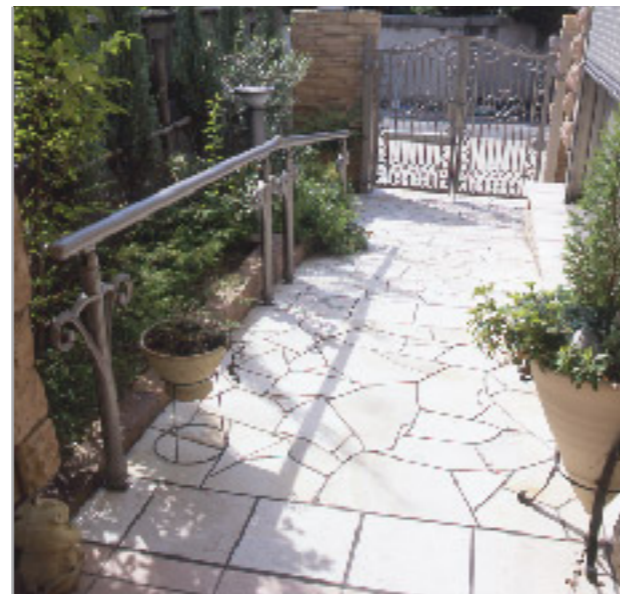
スタッフは、社長、プランナー、植木担当、基礎担当、ブロック担当の5名。基本的に外注に出さず、全員で協力しながら仕上げていきます。現在の実績は、月に10件、1千万円前後でしょうか。実は仕事の引き合いはもっとあるのですが、スタッフ5名だと、このぐらいまでがしっかり目が届く限度なんです。

プランニングを一手に引き受けているのは息子です。いま7年目ですが、入社後1~2年は現場で修行したため、施工をわかったうえで図面を引いてくれるので、細かいところまで信頼できます。それにデザインにこだわる若いお客様にも満足していただいています。

現在、新築2~3:リフォーム7~8割の割合で、リフォーム需要が増えています。リフォームは限られた条件のなかで考えなければならず大変ですが、新築に比べてお客様と話せる機会が多いし、アイデアを出すのが面白くやり甲斐がありますね。

当社で一番大切にしているのは、お客様との対話です。お客様と話し合いながら、ご要望を細かいところまで聞き、なにを求めているかを考えて、一つひとつ反映させたプランを提案する。そして、それをもとにまた話し合う。そういうやりとりが好きだし、そうやって対話を重ねることで、満足度の高いものが出来上がるのです。

広報宣伝活動は一切したことがなく、同業者の組合にも入っていません。そういうエネルギーをすべてお客様との対話やプランニングづくりに向けています。アフターにも力を入れていて、植木の手入れは定期的に行っていますし、台風後の修理などは、すぐに駆けつけるようにしています。そういった地道な仕事の積み重ねが、長い目でみて有効な広報活動になると思うのです。



【玄関からアプローチを見る】
白い天然石の乱張りが明るい印象のスロープ。
手すりもさりげなく風景に溶け込んでいます。



【玄関わきの小庭】
玄関脇の壁の向こうは土のまま残したので、
奥様が実家のお母様からいただいた植物を植えるなど、
ちょっとプライベートな花壇として
自由に楽しまれています。



【建物脇のカーポート】
2台の車を縦列駐車できるダイナミックなカーポート。
エクレージのアーバングレー色を採用したため、
外壁とも美しく調和して違和感がありません。



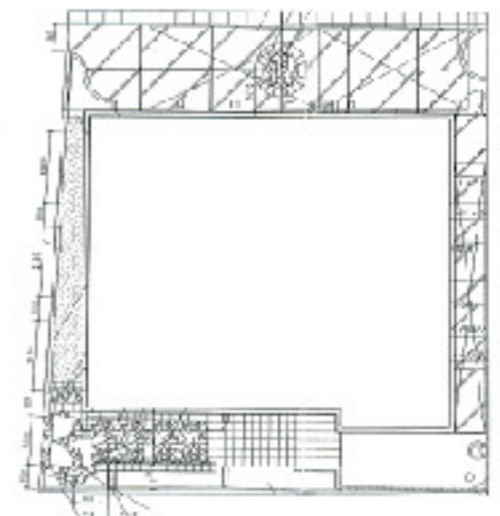
【正面全景】
建物の色に合わせ、天然石も同じものを使って
一体化させた塀。天然石の配置や壁にかけた窓が
リズムカルで、外観の楽しいアクセントに。

A様邸

お客様の要望は「建物の外観に合わせたエクステリアを」。そこで塀は建物と同じ天然石を張り、見事に一体化させました。正面の鋳物門扉「エクレート3型」、建物脇のカーポート「エクレージ」など、すべて建物の色と調和するアーバングレーに。また、お客様が長男長女夫婦でご両親が来訪する機会も多いので、アプローチは階段でなくスロープにして手すり「エトランボ」も設置。見た目だけでなく機能性も満たした、気配りのエクステリアです。



【門~アプローチ】
門扉は鋳物門扉エクレート3型。
標準仕様にはないアーバングレーに塗りかえたため、
天然石や壁面の色とも自然に調和。
アプローチはスロープで、
玄関までやさしく導いてくれます。



【アプローチわきのベンチ】
掃き出し窓の出口付近を張り出して、
ベンチふうにつくったため、
「庭いじりのとき、
ここで一休みするのが楽しみ」と
奥様の大好きな場所に。



【鋳物飾り】
玄関アーチの上の壁面には、南欧風の鋳物の壁飾りが
あしらわれ、おしゃれで暖かみのある
アクセントになっています。



【鬼門をおしゃれに】
方角的に裏鬼門にあたる門なので、
内側に魔よけの南天を植えました。

「お客様は必ずまた来る」が持論。
31年の信頼感と確かな施工技術で、
お一人様 お一人様に
誠実な対応をしていきたい。



代表取締役・村中勉様（左）と、
息子さんの専務取締役・村中勲様（右）。
「私は来年引退して、息子に引き継いでもらいます。
息子は来年30歳、私が独立した歳なので」

創業31年になる当社は、福井では最古参のエクステリア会社です。創業当初、建て売り業者は建物を建てるだけ、外構は何もしていなかったのが、3棟だけ外構工事をやらせてもらいました。すると、「外まわりを整えて木を入れると家が高く売れる」ということで、続々と紹介が来るようになり、仕事も軌道に乗っていきました。

その後取引先は建て売り業者からハウスメーカーに変わりましたが、業者からの紹介ばかりでは予算的にも厳しいため、個人のお客様を増やそうと、7年前に自社でエクステリア展示場をつくりました。その甲斐もあって、現在では個人のお客様が6割、ハウスメーカーからの紹介が4割になっています。

ただ、ハッキリ言って、業者からの紹介のほうがラクです(笑)。お客様と直のやりとりは、時間も手間もかかるし、展示場を維持する経費もかかる。それでも、お客様とトコトン話し合っただけで上げるのは充実感がありますし、お客様に満足していただけるのは何よりもうれしいですね。

家を建てるなんて一生に何度もないから、1人のお客様にそんなに開く必要はない.....という人もいますが、私は「一度おつき合いましたお客様は、必ずあとでまた来る」と思っています。ですから、アフターにも気を遣っていて、たとえばお客様から何か相談されたら、どんな小さなことでも即対応します。そうやって信頼関係を築き上げていくと、後々リフォームの依頼や、別のお客様を紹介してくれたりもします。また工事をさせて頂いたお客様の67%がリピーターとして、新たにご依頼を頂きました。なかにはお客様のお子さんやお孫さんもいらっやいます。31年間こつこつとお客様第一にやってきたお陰ではないかと思えます。

実績は月平均30件ぐらいです。スタッフは私と息子 専務 合わせてプランナー3名、工事担当3名、経理2名で合わせて8名です。外注に出さず自社スタッフで責任をもって行のがモットーで、プランナーも工事も熟練者が多く、「難しい仕事ならあそこで」と言われますね。とくにアルミ製品の施工には定評があり、アルミ+天然素材を組み合わせた外構は得意だし、ユニークで満足度の高いプランができると自負しています。



建物&エクステリア全景]
左右の2種類のカーポートを後付けしたのですが、どちらもまるで最初からプランニングしたように美しい調和を見せています。
アーバングレーのやさしいメタリック色が、天然素材系の建物外観と自然にマッチ。
高さや分量のバランスも絶妙です。

M様邸

住まいもエクステリアもハウスメーカーの方で完成済みだったM様邸。ここに車2台+ピアノのお稽古に来る自転車のカーポートを設置したいとのご要望でしたが、「完成している庭をこわしたり、植栽を動かしたりしない」というのが条件。角にある電柱の位置も移動不可。そこで、柱の位置を自在に動かせる「スノースター」と、片側柱で自由度の高い「エクオーレZ」を採用。既存の庭の雰囲気をこわさず、動線もそこなわず、植木の移動もしないで、美しく調和したエクステリアを完成させました。お客様も「ここまで溶け込むなんて!」と大満足です。



動線を損なわないUスタイルの柱]
奥のカーポートは積雪地域向けカーポート「スノースター」。柱を自由な位置に逃がせるため、アプローチの動線や、植え込みを巧みに避けながら柱を設置することができました。また、柱を逃がしたおかげで、3台目の車を中央に駐車することも可能に。



カーポート柱付きのカーポートだから安全]
カーポート・エクオーレZは、折り畳み式のサポート柱つき。屋根の部分に折り畳まれた支柱を降ろして伸ばし、床に立ててセッティングするだけ。女性でも手軽にできます。このサポート柱を立てれば、積雪が多いときでも安心だし、台風の強風で屋根がおられる心配もありません。



玄関アプローチ前にゲートを]
太いカーポートの梁と柱を、逆に利用して、玄関アプローチ前にゲート風に設置。門構えのない家なので、これが外と内との空間を仕切るアクセントになっています。また、このゲートが手前にあることで、玄関までのアプローチに奥行きが感じられます。



柱の根元は家族の記念スペースに]
カーポートの柱を埋め込んだ根元の部分だけは、後付けなのでどうしても違和感が出てしまいます。それを感じさせないように、ここをお子さんの名前を彫りビー玉を埋め込んで、楽しい記念のスペースに。



エクステリア展示場+グッズショップも準備中!

現在改装中(来春オープン予定)ですが、事務所の脇には300坪のエクステリア展示場があり、さまざまなスタイルのエクステリア提案の実例を紹介。実物を見るとお客様のイメージもふくらみ、プランニングもスムーズに進みます。また、エクステリアグッズのショールームも併設中。お子さんが遊べるコーナーもあり、休日に家族で来ていただき、楽しみながら商談が進められる、そんなスペースを目指しています。



ゼロから「飛び込み」でスタートして10年。
30代スタッフの情熱と感性が財産です！

10年前、勤めていた会社が倒産したため、専務と2人でエクステリアの会社を設立。文字通りゼロからのスタートでした。まず行ったのは、家を建てているところを探して「飛び込み」。小言を言われることもありましたが、20件に1件ぐらいは見積もりまで行き、その8割ぐらいは成約にこぎつけることができました。飛び込みなのに成約率が高い？ そうですかね。コツは、あまりこちらからワイワイと言わず、相手の話をよく聞くことでしょうか。商売を前面に押し出さず、世間話をしながら信頼感を得て、それとなく家族構成や生活スタイルを聞き出すようにしていきました。お客様と話ときは、冬でも汗をかく程集中します。汗をたっぷりかいたお客様とは、たいていその後スムーズに商談が進みます。



代表取締役・小岩 淳一様

当社のスタッフは、私も含めて、設計3名、営業3名、工事1名、業務1名、現場監督1名、不動産関係1名の合わせて10名です。社長以下みんなほとんど同年代で、平均年齢35歳という若さと情熱が売りです。とくに設計は3名とも女性。最近、住宅取得年齢が若くなり、主導権を握るのはほとんどが奥様なので、女性の感性や生活感を生かした設計で提案できるのは大きな強みです。

商圏は春日部市中心に関東一円で、東京都内の仕事も多いです。実績は、建て売りも含めて月に30~50件。仕事の内訳は、個人のお客様6:ハウスメーカーからの紹介4ぐらいです。ハウスメーカーからの紹介も、下請け的な仕事は少なく、半分ぐらいはお客様と直に交渉できるので手応えがあります。また、8年前に立ち上げたホームページはかなり認知されていますし、個人のお客様だけでなくゼネコンやビルダーからの引き合いも少なくありません。ゆくゆくはネットで受注するシステムをと考えています。

いままでは一生懸命頭を下げて営業をしてきましたが10年の節目を迎え、これからは今までのやり方に加え「頭を使う」展開をしていきたいですね。エクステリアのセキュリティにも力を入れていきたいと思っています。

「景観に溶け込むデザインを」

設計チーフ・杉山様

決まったスタイルにこだわらず、どんどん新しい提案をしていきたいと思っています。最近のお客様は研究熱心で情報も早いですから、それに負けないように。そのうえで、昔からそこにあったような、景観に自然になじむエクステリアをつくっていききたいですね。



平均年齢35歳！元気いっぱいのスタッフの皆さん



「リズムカルなナメの塀」
塀を高くすると防犯が上がって心配なので、ナメに切って奥行きに段差をつけてセミオープンな雰囲気。

「エクステリア全景」
ベージュの濃淡で統一したやさしい雰囲気の外観。奥の子世帯の外壁と、手前塗り塀の色を合わせているのがおしゃれです。4台駐車できる大型カーポート「カムファイアワイド」も、その手前の跳ね上げ門扉「エクモア1型ワイド」もバランスよく外観に溶け込み、アーバングレー色が建物の色調と美しくマッチしています。

S様邸

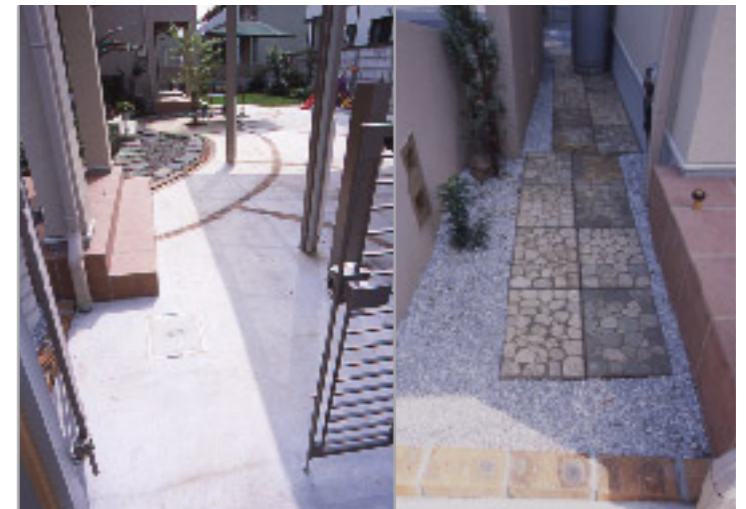
ももとの住まいを全面的に建て替え、親世帯と子世帯の2棟が前後に並び2世帯住宅に。エクステリアに関しては、「車は3台以上駐車したい」「2棟どちらにも行きやすいアプローチを」といったご要望が出され、門を2箇所にするかどうかなど、何度も話し合いながらまとまったプランです。カーポートに「カムファイアワイド」、カーポート前の跳ね上げ門扉に電動式の「エクモア1型ワイド」、門扉に「マイリッシュ」を採用。アーバングレー色が、住宅や塀のやさしい中間色と調和して、大型のカーポートも重苦しさを感じさせず、軽快で美しいエクステリアを実現しています。



「庭の中心にシンボルツリー」
親世帯と子世帯の間、庭の中心に植えられたシンボルツリーはエゴの木。だんだん大きくなるのが楽しみです。



「軽快でおしゃれな門扉」
門柱と門扉には「マイリッシュ」ミルキーメイプル色を採用。洗練されたシンプルラインに、ナチュラルな木の色が暖かみを感じさせてくれます。左右の門柱のインタホンそれぞれ親子で使い分けて。



「2世帯をつなぐアプローチ」
門を入ったところ、床レンガを埋め込んだやさしい曲線のアプローチで、手前親世帯にも、奥の子世帯にもスムーズに行き来できます。

「サービヤードも心楽しく」
塀の裏側はプロパンガスや排水口のある実用通路ですが、床に以前の家で使っていた懐かしい敷石を再利用。奥様のお気に入りのスペースです。



「子世帯住宅から外を見る」
奥の子世帯は庭に芝生を敷きつめて、小さなお子さんが安心して遊べるスペースに。おばあちゃん家もすぐ隣にあるので、二世帯で楽しく交流できます。

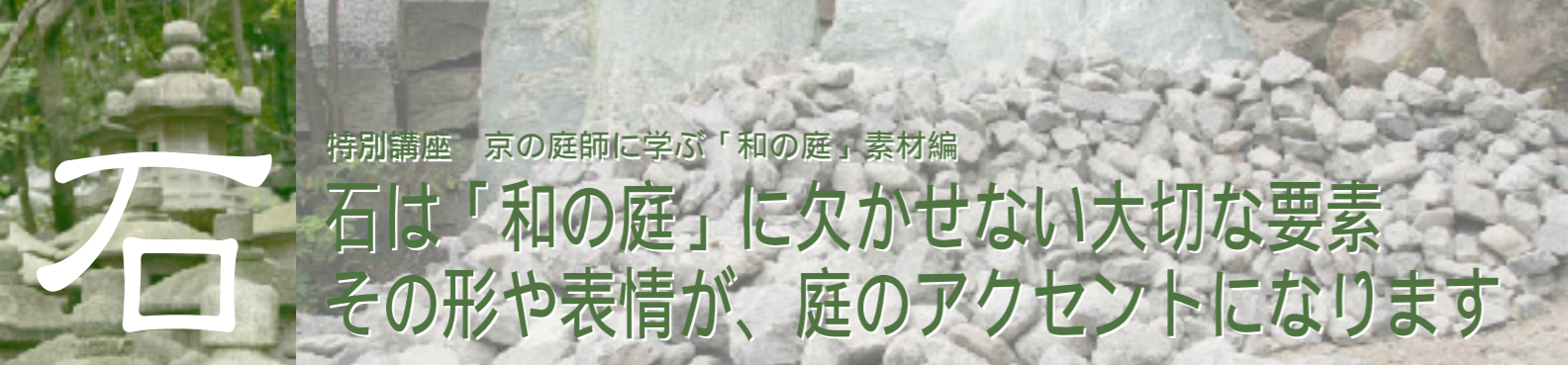
テクニック公開します!!

プレゼン編

水彩調のカラーパースで
美しいアングルをたっぷり見せる

たとえば、パースは女性の好む繊細な水彩タッチと淡い色使いで仕上げ、さまざまなアングルから紹介。こうすることで「こんな階段を下りてお出かけしたい」「ガーデニングも楽しめそう」などお客様の具体的な夢がふくらみます。競合に勝つためには、印象的なプレゼンテーションでお客様のハートをつかむことも大切です。





特別講座 京の庭師に学ぶ「和の庭」素材編

石は「和の庭」に欠かせない大切な要素 その形や表情が、庭のアクセントになります



「和の庭」案内人
つだ ひでお
津田 秀夫
昭和22年生まれ。
東京農業大学農学部造園学科卒業。
株 植清・津田造園代表取締役。
平成16年、京都府優秀技能者
「現代の名工」受賞。
現在、(株)京都府造園建設業協会理事。
京都府造園協同組合副理事長。

株 植清・津田造園は明治11年創業。京都府より『京の老舗』として表彰。津田さんが5代目となる。

「北山利和さんの経営する北山都乾園は、京都で石が一番多く取り揃えている石材屋です。種類が多だけでなく、目利きも確かで、ここで石を選ると私好みのものがたくさん見つかるんです」

私・津田秀夫が案内人としてお送りしている「和の庭づくり」のシリーズは、前回に引き続き、庭を構成する素材についてお話ししましょう。今回は庭を構成する素材として「石」を取り上げます。石は、大きな庭石から、砂利、砂にいたるまでさまざまな形や表情をもち、石なくして和の庭は成り立ちません。私の庭づくりのよきパートナーでもあり、代々京都で石材を扱ってきた北山利和さんとともに石の種類や良し悪し、美しい使い方のコツを伝授します。



きたやま としかず
北山 利和
昭和16年11月7日生まれ。
京都府立山城高校卒業。
27歳の時に家業を継ぐ決意をして
現在は 株 北山都乾園代表取締役。

株 北山都乾園は、造園建築石材卸の会社で北山利和さんと4代目。1300坪の敷地には、燈籠だけでも約1000本、その他膨大な種類と量の石材が集積している。

べっぴん「別嬪」「じゃぐれ」とは？

津田 飛び石、石垣、池、砂利、砂、あるいは燈籠やつくばい(手水鉢)など、和の庭は石なしでは成り立ちません。北山さんのところでは、あらゆる庭石を扱ってますよね。

北山 ええ。川石は吉野川や十津川、山石は兵庫や四国から仕入れています。京都の石材屋は産地では嫌われるんです(笑)。石なら何でもいいじゃなくて、選るもんだから。

津田 そして、われわれ庭師も、そうやって仕入れた石から、さらに自分がつくる庭に合うものを選び抜く。何百個あっても、そのなかから一つひとつ選っていきます。

石にも良し悪しがあるんですか？

津田 ありますよ、美しいのとそのでないのが。それに、その庭のイメージに合うかどうかも重要なんです。なかにはまれに、よだれが出そうな「別嬪」の石もある(笑)。

北山 じゃぐれた感じのものなんか、いい味を出しますよね。

「じゃぐれた感じ」というのは？

北山 ゴツゴツとしていて、野趣のある表情をもった石です。表面があまりつるつるになったものは、表情に乏しくてつまらない。

山石と川石で違いがありますか？

津田 山石は重厚で格の高い感じ、川石は野趣があって柔らかい感じがします。「真・行・草」でいえば、山石は真、川石は草。京の庭は川石を使ったものが多いんですが、肩の凝らない「草」の感覚が好まれるからでしょう。でも、どちらもそれぞれに情趣がありますし、建物との相性もあります。たとえば数寄屋造りなら建物が「真」なので、庭石も山石が似合う、というふうに。

燈籠やつくばいは何年も置くんですか？

北山 和の庭は「時間」を眺めるものなんです。だから新(さら)ではダメ。うちの資材置場には燈籠だけで1000本ぐらい置いてありますが、燈籠やつくばいも3年、5年、7年と時が経って錆びてくるにつれ味が出るし、そうやって初めて商品になるんです。



山積みされた石のなかから、クレーン車で、庭に使う石を選び分ける造園業者。こうして必要な石を選んで買い付けます。



立ち並ぶ燈籠。灯り窓の部分に苔のついた木の皮等を置いて、錆(苔)が早くつくようにしていますが、それでも4~5年はかかります。

主役+脇役でバランスよく配置

石を美しく組み合わせる法則とか、コツのようなものはありますか？

津田 先ほど別嬪の話が出ましたが、別嬪ばかりを並べても、お互いの個性を消し合ってしまう、いい庭にはならないんです。主役があつて脇役がある、そういうバランスを考えて石を選び、配置することが大切です。

北山 飛び石のかたちや組み合わせなんて、本当に上手下手が出ますよね。

津田 そう、これは図面には描けない。石の形はすべて違いますから。現場に置きながら大き

さやバランスを見て、自分の感覚でレイアウトを決めていくしかないんです。

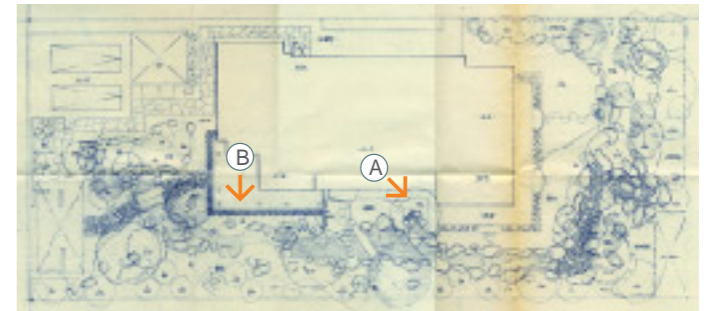
北山 うちの隣は龍安寺さんで、子どものころ自由にあそこの敷地内で遊んでました。京都人には大なり小なりそういった経験があり、それが庭の造形に対する感性を育てるのかもしれないですね。

津田 そうですね。もちろん京育ちでなくても、本物に触れる機会を多くもち、美しいものに感動しながら、つねに感性を磨いていくことが重要だと思います。

津田さんに教わる 石を使った庭のプランニング

滝から渓谷、そして池へ。 水の流れの変化を石で表現

これは個人のお宅です。建物は格式の高い数寄屋造りなので、石も重厚な山石を使用。これが草庵ふうの建物なら、野趣のある川石が調和する...などと、建物と庭の雰囲気合わせる事が大切です。お施主様の要望は「庭に流れと池がほしい」というもの。そこで、建物をぐるりと囲んで滝・川・池をレイアウト。渓谷の険しさを表現するため、高知まで行って山石を探してきました。その甲斐あって、イメージ通りのダイナミックな庭が完成しました。



「人」文字の石がお出迎え

図面の②のアンクルから撮ったもの。訪れた人がちょうど玄関まで来て、ふと横を向いたときに見える光景。川の向こう、左奥に寄り添うように立つ2個の石は「人」という文字を表し、「人様を暖かくお迎えする」という意味も込められています。この石のように、庭石はまっすぐ立てるのではなく、ちょっと傾かせることで風情が出ます。



上の写真と同じアンクルの施工中の写真。奥にそそり立った石を組み上げて滝口をつくっているのがわかります。

渓谷の荒々しさ、池の穏やかさ

図面の①のアンクルから撮ったもの。奥に滝をつくり、そこから渓谷、川、手前の池へとつなげながら、水の流れに変化をもたせています。滝から渓谷は大きな山石を組み合わせ荒々しい感じを出し、水の流れをちょっと暴れさせることでせせらぎの音を演出。渓谷の荒い流れとは対照的に、池の底にはなめらかな那智黒の砂利を敷いて、おだやかさや静けさを表現しています。左側の飛び石は鞍馬石。数寄屋造りの建物に合わせた「真」のイメージです。

石の種類と使い方

庭石にはさまざまな種類があり、同じ種類の石でも大きさや形状によって雰囲気が変わってきます。ここでは京都で最もポピュラーな川石と山石に、石造物の代表として燈籠とつくばいをご紹介します。

川石

川でとれた石。柔らかみがあり、肩のこらない自然な雰囲気に

吉野石 (よしのいし)

奈良県の山間部を流れる吉野川でとれた石。適度ななめらかさと洗練された表情をもっています。写真中央にある石が「じゃぐれ」た感じの石。ゴツゴツと変化のある表情が魅力的で、庭のアクセントになります。



十津川石 (とつがわいし)

奈良県南部～和歌山県の山間部を流れる十津川でとれた石。石の種類は砂岩。差し石に使われたり、池の底や、平べたいものは畳石にも使われます。吉野石も十津川石も、最近はなかなか採集許可がおりず、貴重なものになっています。



燈籠 (とうろう)

伝統デザインが中心。数年は置いて錆びさせる

燈籠のデザインはいろいろありますが、ほとんどが江戸時代までに完成されたもの。それらを超えるデザインが現れないため、現在も伝統的なデザインが中心です。

左の大きな燈籠はまだ新(さら)なもの。右側はここに置かれて4～5年経過したもの。新しいものは味わいに欠け、庭の景色のなかで浮いているのがよくわかります。



山石

山でとれた石。力強さや荒々しさがあり、格式の高い雰囲気に

鞍馬石 (くらまいし)

京都の鞍馬山でとれた石。鉄分が多いため赤みがかった茶色で、比重が重く、そのため重厚な感じがします。山石は基本的に削ったり割ったり加工して使います。飛び石や沓脱石に、あるいはつくばいなどに。



つくばい

燈籠パーツや生活用品などデザインは自由



つくばい(手水鉢)は燈籠のパーツを利用したものや、生活用品を模したもの、あるいは全くのオリジナルなど、さまざまな種類があります。たとえば左の四角いものは「四方仏」といって石塔の一部。つくばいも燈籠と同じく、数年置いて錆びさせてから使います。

これは京言葉で「おくどさん」=かまどのこと。かまどを形取ったつくばいです。



鞍馬石を彫って創作されたつくばい。新物ではなく、おそらく昔どこかの屋敷で使われていたものでしょう。燈籠が伝統デザインしかないのに対して、つくばいにはこんな独創的な逸品も。山紅葉と下草をちょっと加えれば、これひとつで十分に絵になりそうです。



エクステリアミニ研修会 / 中国地区 潜入レポート マンツーマンのキメ細かいサポートで ベストパートナーをめざす!



4月に東京、大阪、名古屋、静岡で開催された「2005年エクステリア商品展示会」の後、各支店では、よりキメ細かいセールスサポートの一環として「ミニ研修会」を積極的に展開しています。なかでも全国に先がけて、この活動をより強力に進めている中国地区の広島会場を、EX.VIEW編集部が潜入レポートしました。

8会場16回! のべ500名のお客様をお迎えして

7月27日広島サンプラザで開催された「エクステリア新商品研修会」は、中国エクステリア営業所 中山所長の挨拶で始まりました。「昨今、多様化する住宅事情の変化を反映し、ご満足いただける商品を多数開発・提供してまいりましたが、それゆえに「より商品理解を深めていただくことで、需要が高まる商材」が増えています。たとえばスタイルは、事例と施工方法を知れば知るほど、お客様のニーズに合わせた提案ができます。4月の展示会は大規模で各地からのお客様も多く、一人一人に十分なお説明ができませんでした。そこで、引き続きセールスサポートとして、1会場25名～30名様の少人数制による『ミニ研修会』を各地で開催し、展示会でご説明しきれなかった商品特性やコンセプト、施工方法や使い方などをより具体的にご説明しています。この中国地区だけでも、7月12日～29日の間に広島、岡山、山口、山陰と8会場計16回、のべ500名のお客様にご来場いただき、マンツーマンの研修を進めております。ぜひこの機会により一層商品知識を深めていただき、お客様の満足度を高めるセールス活動のお役に立てることを願っております」



住宅ニーズに沿った代表的な新商品 & 販売支援ツール説明

続いて、木村より、いま最も主流の「シンプルモダン住宅」に適する代表的な新商品、狭小地やデッドスペース活用等未提案だった空間への商品、敷地の制約に柔軟に対応する商品等、映像を交えながら説明。他社では未開発の商品も含めてご紹介し、独自の商材+提案力で競合社との差別化を図ってほしいと締めくくった。



無償提供の販売支援ツール「人工木デッキ・ひとと木」見積システムをレクチャー

次に、山元より「人工木デッキ・ひとと木」の見積システムを説明。「簡単に見積りや図面がとくれるので、販店様様の営業効率をアップ! 時間が短縮された分、ほかの仕事をごこなせます! 無償提供ですから、ぜひ有効活用してください」



新入社員が ナレーターに!

この研修会にあたり、今年度の新入社員は「いつでも、どこでも、誰にでも、どれでも」を目標に、すべての新商品を説明できるよう猛特訓。会場に展示された新商品を前に、やや緊張さみでした。



施工の解説 人工木デッキ「ひとと木」の施工を実演!

他社より太い「束柱」、他社にない「根がらみ」、補強板の「大引」など、いずれも強度を確保するという説明に加えて、施工の簡単さを実演で披露。傷や汚れはワイヤーブラシとサンドペーパーで簡単にメンテナンスできることも、楽しいパフォーマンスを交えて熱演。参加した方々も熱心に見守っていました。

充実の2時間、熱気のなかでお開きに

代理店様を代表して、**株エクスシの太田部長様**より閉会のご挨拶を頂戴しました。

「本日はありがとうございました。私どももこの夏、営業・物流システムの業務が一体となり、新事務所がオープンしたのを機に、三協アルミさんのお力添えとともに、社内勉強会を設け、商品知識とセールスキルアップに努めてまいります」



参加者様の声

有限会社 須賀組
社長 須賀 譲司様

「勉強会らしく人数もちょうどよく、聞きたいことが聞けて、ゆっくりと見られてよかった」

金口 美樹様

「いまお世話中のお客様にさっそく『カフェリオ』を紹介しま〜! 研修会には必ず参加しますが、来るたびにいろいろ学べて勉強になるし、いっぱい新発見をしました!」



有限会社 エムテックス
小田 様

「見積システムの使い方がわかったのは収穫でした。全商品のが揃えばもっといいなあ。研修会は直接ゆっくり見て触れて、聞けるので役に立ちます」

期待される商材と信頼できる営業フォローで「企業ブランド価値」の創造へ!

中国エクステリア営業所 所長 中山 眞

この少人数制の新商品研修会は、われわれ営業政策のなかでも重要項目のひとつです。メーカーは、ただ商品を開発し、お客様に売るだけでなく、その背景や誕生秘話、コンセプトからセールスポイントを十二分にご理解いただき、施工方法にいたるまでキメ細かにサポートする必要があります。ハードである「商品=モノ」と、付加価値といわれるソフト部分の「営業支援」が揃って、初めて企業ブランド価値が高まっていくのです。「ブランド」になるためには、お客様の信頼や期待を裏切らず安心を与えること、そしてわれわれの長期的な意思を表明して、お客様との強い絆を確立することが必要です。このような勉強会を頻りに開催することで、販店様様が抱える問題をわがこととしてセールスサポートし、ゆるぎないパートナーシップと信頼関係を築いていきたいと思っております。

台風による強風対策のために、カーポート設置には「ワンランク上の商品」や「サポートセット」をおすすめします

去年中国・四国地方を襲った大型台風は、各地でカーポートの屋根が破損するといった被害をもたらしました。強風に対応するため、カーポート設置にはどのような対策が必要でしょうか。設置場所や方角に関しての注意点や、強風対策用のオプション、より強度の高いワンランク上の商品などをご紹介します。

風の影響を受けやすい場所は要注意!

カーポートを設置するさいには、強風に対応した強度を確保することがなによりも大切です。とくに、海の沿岸や田園地域、風をさえぎるものがない高台の住宅地、角地や空き地の隣などで風の通りがよい場所、付近にマンションなど高い建物があるビル風が吹く場所……といった場所は風の影響を受けやすいので要注意です。(EX総合カタログ2005-2006年度版 P734ご参照)

1 「サポートセット」「パネル抜け防止材セット」をプラスして強度を高める

「サポートセット」と「パネル抜け防止材セット」を使ってカーポートを補強すれば、耐風圧性能が高まります。

2 強風に対してワンランク上の商品を選ぶ

「サポートセット」をプラスすれば備えは万全ですが、これからカーポートをプランニングするなら、強風に対してワンランク上の商品を選ぶことをおすすめします。



NEW さらに強く、さらに美しいカーポート誕生!!

カムフィZX

パネル抜け防止材
強風による屋根パネルの吹き上げに備えて、上側からパネルを押さえるパネル抜け防止材を取り付けてあります。

強風によるパネルの吹き上げに効果的

パネル抜け防止材

パネルピッチ

通常718mmを620mmにして強度アップ

パネルピッチ620mm
パネルピッチを狭くすることでパネル抜け強度をアップしました。

全サイズ3本柱仕様
すべてのサイズを3本柱にすることで強度をアップしています。

台風現場 REPORT-1

被災してわかった「備えあれば憂いなし」!

中国エクステリア営業所 林山(談)

ご存じのように、去年の中国・山陰地方の台風被害は相当なものでした…。強風によるカーポートの被害が目立ちましたね。屋根の一部がはがれたり、飛ばされたり……。他社の製品では、柱が折れたケースもあったそうです。台風が去った後は、それはもう毎日毎日、目まぐるしく修理・修繕・補強に走りまわりました。特に、カーポートの「サポートセット」の追加需要は非常に高かったですね。また、片足タイプから両足タイプへ、あるいは、より堅強なZシリーズに設置変更される方も、かなりいらっしゃいました。今年もまた大型台風が上陸しましたが、去年の補強が効いたのか、ほとんど損傷被害はありませんでした。やはり、常日ごろからの「備えあれば憂いなし」でしょうか(笑)。

強風により屋根パネルが飛ばされる

台風現場 REPORT-2

サポート柱のおかげで強風も安心! 女性が簡単にセッティングできるのもうれしい

福井市・M様邸

「8月に大型台風が来て強風が吹いたときも、このサポート柱をセッティングしておいたら、屋根があおられたりバタバタということもありませんでした。とくに力もいらず、女性の私でも1人でできるので便利です」と奥様が笑顔でお話してくださいました。

カムフィZX ¥368,000

御庭会通信

四国御庭会 総会

7月13日 新居浜商工会館

四国御庭会では総会が行われ、平成16年度の事業報告及び平成17年度の事業計画、役員改正等が承認されました。新会長には緑化工房あうとてり家さかいの酒井社長が選出されました。また、併せてプランニングコンテスト表彰式や古橋宜昌先生による講演会も行われ、充実した内容の総会となりました。



東北御庭会 総会

7月27日 日連連ピーブ4F

東北御庭会でも総会が行われ、平成16年度の決算報告及び平成17年度の予算案、役員改正等が承認されました。新会長には富士工営(株)の矢内社長が選出されました。また弊社技術サポート部の林部長により、クレーム対応に対する説明・研修を実施させていただきました。



栃木御庭会発足式

7月28日 宇都宮東武ホテルグランデ

全国6番目の御庭会の発足式が開催されました。初代会長には(有)泉新工業の広瀬社長が選出されました。また、群馬御庭会の大高会長にも御出席頂き、群馬御庭会における具体的な活動内容等の大変参考になるお話を頂戴しました。

ユーザー様専用ホームページ開設

2005年7月にスーパー御庭番のユーザー様専用ホームページを開設いたしました。使い方に関する情報や新商品データのダウンロード、ユーザー様のホームページ作成支援など幅広くユーザー様のご要望にお応えしてまいります。



御庭番スタッフ紹介

宮城県黒川郡
有限会社 ジーエル青葉 様
代表取締役社長・野地 宏 様

御庭番は操作が簡単だから中高年でも十分にマスターできます。それにお客様の反応が全然違う、「あ、こうなるのね!」と



代表取締役社長・野地 宏 様

御庭番を導入したのは6年前、きっかけは競合他社との図面提案に勝つためでした。それまでは手描きだったんですが、御庭番のカラーパスで提案したとたん、お客様の反応が全然違いましたね。「あ、こういう風になるのね!」と納得してくださり、「じゃ、ここをもうちょっとこう変えたいわ」などお客様からも提案が出てきて、やりとりが非常に活発になり、満足度の高いプランに練り上がっていったのです。御庭番を使っているのは私と長男の2人です。導入した当時、私は50歳を超えていて、キャドは初めての経験でしたが、必死だったこともあり(笑)拒否反応はありませんでした。1日講習を受けて、翌日には簡単な図面が描けるようになったし、試行錯誤もありましたが、1か月ぐらいでマスターできました。御庭番は本当に操作が簡単ですから、キカイは苦手という方も思い切って始めてみることをおすすめします。御庭番の機能で一番気に入っているのは、デザインしたものを一つの方向からだけでなく、まるで自分がそこに立っているみたいに、あらゆる角度から見られること。それを見ながら、塀をもっと高くとか、ここにアールをつけようとか修正ができるので、キメ細かいプランニングができますね。休日はなかなか取れないんですが、たまにまとまった休みが取れると、キャンピングカーで女房と全国を旅行しています。北海道や山陰にも行きました。自然の中でのんびり過ごすのは気持ちがよく、何よりのリフレッシュになります。



EXTERIOR VIEW 2005
Vol.26